

## 2017（平成 29）年度 施設評価について

### <施設の自己評価>

2017 年度末に行った職員の自己評価を基に、えじり保育園として、施設の自己評価を集計・考察しました。

#### （2017 年度を振り返って）

##### ○通常の保育の中で

- ・子どもの声を聴くこと、そこからヒントをもらい保育を進めていった。
- ・子どもと十分に関わることを心掛け、その中で、次はこうしてみよう、こうしたことが好きかなというものを提供できるようにした。
- ・子どもたち一人ひとりと、モノ（素材）との出会い・関わりについて、丁寧に見ていくようにした。そのための環境構成についても工夫した。

##### ○行事について

- ・これまで春（5月）に行われていた親子遠足を、秋（11月）へ2017年度より変更した。天候の心配もあり、親子での野外活動（遊木の森でのストーン探し）を行った後、保育園へ戻ってから昼食とした。乳児クラスの子どもたちにとっては、室内で昼食をとることができたため、落ち着いて食事をすることができた。こうしたやり方も、一つの方法として今後も検討していきたい。
- ・乳児クラスの祖父母参加会について、子どもたちの年齢が小さいため、開催の可否、内容について検討する必要がある。

#### （2017 年度の反省及び来年度へ向けて）

- ・園庭の使い方について、保育者間で検討する必要がある。特に、園庭で使用するおもちゃについて、子どもたちが使ったままになっていることもあるため、片付けの仕方を含め、どのようなおもちゃを使うのか検討したい。
- ・クラス間の交流を進めていきたい。特に、乳児クラスと幼児クラスの交流が少ないため、それぞれのクラスの様子などがなかなか分からないため、保育者間でお互いに理解することができれば、クラスの枠を越えて、子どもたちの保育もより広がっていくと思う。
- ・子どもの作品について、語り合う機会が欲しい。子どもの作品を、すべての保育者で「味わう」ことを通して、ディスプレイ（掲示）の方法についても話し合っていきたい。
- ・年長（だいちぐみ）のみで行われる行事について、クラス担任だけでなく、全保育者が関わる事ができれば、行事に対する思いを、より共有できると思う。

◎園庭の使い方については、園庭系の保育者を中心に、2018 年度新たなルールづくりができるように話し合っていきます。また、クラス間の交流、情報交換については、乳児部会議、幼児部会議、全体職員会議において、会議の中で議題として必ず提案するとともに、各クラスで作成している毎日の保育内容のお便りを、他のクラスの保育者も目を通すようにしていきます。そして、子どもの作品については、研修等を通して、保育者同士ディスカッションできるような機会を設けていきたいと考えます。

## <保護者アンケートを通して>

2017 年度各クラスで行った保育参加を通して、保護者の皆さまに記入していただいたアンケートをまとめたものとなります。(2017 年度在園児総世帯数 94 世帯、全世帯の保護者の方が回答)

### (えじり保育園の保育について)

- ・お教室で遊んでいるときはそれぞれに好きなことに夢中になって遊んでいて、園庭に出たらサッカーをしたり、虫を探したり、小さい子の手を引いて遊んだり、いい環境で過ごしているのだなあと思いました。
  - ・魚にも虫にも種類があることを思い出させてくれた保育参加でした。スズキ、イトヨ、ブリ…私たち（大人）からしてみれば「魚じゃん！」で終わりなのですが、(子どもたちは)一つ一つ見分けられるんだなあ。子どもたちも個性豊かで、自分の子はココちょっと変?と気になることもあります、25 人の中にいると、それも個性なのだと思います。
  - ・工夫をこらした遊びがたくさんあり、わが子が、保育園を楽しみにしているのがよく分かりました。子どもの好きなことにトコトン熱中できるところがいいなと思います。
  - ・外で木登りや虫さがし、こおりおに、リレーと、いつも家族で公園に行き遊ぶときにはやらないことが、保育園で友だちとできて楽しそうでした。
  - ・子どもに対して「静かにしなさい」ではなく、ゲームを通して静かになるように促したり、時計が読めなくても一日の予定を伝えて、針の位置で時間を伝えたり、さっそく家でも実践してみたいと思いました。
  - ・園庭で遊ぶ際にクラスの垣根を越えて、上の年齢のクラスの子どもたちが自分より年下のクラスの子どもたちを気遣いながら過ごしている様子を見て、すばらしいことだなと思いました。
  - ・自主的に遊ぶことは、皆得意なのかなと思います。ただ、年中（4歳児）ぐらいであれば、人の話を聞くことや、集団で行うこと（皆に合わせる）をもう少しできるようになって欲しい。
- ◎子どもたちが、自分の好きなこと・得意なこと・挑戦したいこと・興味を持ったことを見つけられること、そして、それをこころゆくまで遊び込めることは、えじり保育園の保育の中で大切にしていることです。そのため、子どもたち一人ひとりが、自主的に、自由に過ごしていると感じられる時間が多いと思います。ただ、そうした時間だけでなく、クラスで一日の中で一度はクラス全員で集まり、行事があれば行事のことについて、クラス内で何か全員で考えることがあればそれについて、子どもたち同士がお互いの意見を聞き合う、話し合いの時間も意図的に設けるようにしています。

### (給食について)

- 子どもたちの給食の量を見て、こんなに食べれるのか?家ではこんなに食べたことほとんどないのに!と思い、はらはら・ドキドキしていましたが、みんな思いのほかすぐに完食!むしろ、おかわりまで!娘も家では考えられないスピードで完食していました。家でもこれぐらいたくさん食べてくれればいいのに 笑
- いつも真似したくなるメニューで、おいしかったです。
- 娘はサトイモが苦手と言いますが、スープに入っていたけれど完食していました。家では苦手と言われると、どうしても敬遠しがちになるので、園でいろいろな食材が出てくるのはうれしいです。
- 保育園では完食したり、おかわりしたりしているようですが、家ではあまりご飯を食べません。お給食人気メニュー等を教えて欲しいです。

- 手づかみ食べしやすいサイズのものも増やしてくれると、うちの子はもうちょっと食べてくれるかなと感じました。(乳児)
- その子その子によって元々食べられる量に差があるのは当然だと思います。(好き嫌いは別にして) この場合、事前申告制で初めの量を減らしてもらうことは可能でしょうか？
- 普通においしくいただける給食でした。味付けも子どもにはちょうど良いと思います。本日の給食のカレー、たたききゅうり、バナナ、普通でした。子どもたちが喜ぶように、見た目を工夫していただければ、給食の時間がもっと楽しくなると思いました。おいしい給食を温かいまま食べることができたのが、とても嬉しく感じました。
- ◎子どもたちが食べている給食は、保育参加のときに保護者の方にも試食していただいております。給食の提供の仕方、見た目、食材の大きさについては、クラス担任、調理の職員と話し合っていきたいと考えております。

☆在園児すべての保護者の皆さまの声を掲載することはできませんが、半日間の保育参加を通して実際に体験され感じられたご意見・ご感想です。えじり保育園の保育にご興味を持たれた方は、施設見学も随時受け付けておりますので、お気軽にお問合せ下さい。